

震災復興を願い 平成23年度通常総会を開催

理事長に鈴木武夫理事長を再任。震災復興策を含めた事業計画など満場一致で決定。



ご祝辞を賜った全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会 会長 濱田康喜様



ご祝辞を賜った文部科学省 生涯学習政策局 生涯学習推進課第二係長 船木茂人様



挨拶に立つ鈴木武夫理事長



ご祝辞を賜った一般社団法人日本音楽著作権協会 副本部長 世古和博様

去る5月18日（水）、東京都麹町の弘済会館にて、平成23年度通常総会が開催されました。

毛利常務理事の開会宣言後、鈴木理事長が挨拶に立ち、議事を進行。平成22年度事業報告、同収支決算報告、平成23年度事業計画案、同予算案、役員改選案といった5議案が審議され、全てが満場一致で承認されました。総会後には集まった代議員に加え、日頃当連盟がお世話になっている関係各所から来賓を迎えて懇親会が催されました。鈴木理事長は「未曾有の震災や原発事故の影響により業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。被災地の一日も早い復興を祈るとともに、団体として、会員同士の連絡を密にし、明るい方

向へと歩みを進めて参りたく存じます。その為にも、今年度も積極的な活動の遂行に邁進して参りますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力の程をよろしくお願い致します。」とあいさつ。

来賓を代表して文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課第二係長 船木茂人様、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会会長 濱田康喜様からご祝辞を頂戴しました。その後一般社団法人日本音楽著作権協会副本部長 世古和博様の乾杯の後、懇親の宴に移り“カラオケ文化”および“生涯学習”“カラオケ使用者連盟で出来る震災復興”について熱く語り合うひと時を持ちました。

全国11エリアで平成23年度通常総会を開催

5月18日の本部通常総会の決議を受け、全国11エリアでエリア通常総会を開催しました。各会場では平成22年度活動報告、同収支決算報告並びに監査報告、平成23年度事業計画案、役員改選について、説明と審議が行われました。

平成22年度 事業報告

【概要】

昨年5月の総会で掲げた事業計画を基に、組織の強化と拡充を第一目標として活動して参りました。主な内容としては、カラオケオペレーターの全国団体である「全国カラオケ事業者協会」の協力を得て、新しく開業する店舗に対する加入促進活動を展開致しました。

また、全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会と相互交流を行い、共に団体を構成する社交場の環境衛生と社会基盤の構築を目指しました。

【組織の拡充】

平成22年度は新規開業する店舗へ加入申込の促進を図った結果、入会件数を993店得ました。

しかし、廃業に伴う退会件数も819店にのぼり、平成22年度末時点での有効会員数は6386店となりました。

【事業推進】

11月20日(土)～11月22日(月)、高知県で開催された「第22回全国生涯学習フォーラム/まなびピア高知2010」に参加。会場となった高知ちば産センターにカラオケ体験コーナーを設置し、大勢の方々に生涯学習としてのカラオケ利用を提案しました。

また、「まなびピア」の参加事業として、既にカラオケを生涯学習として楽しんでいる方に発表の場を提供し、その視野を広げることを目的にカラオケ大会を実施しました。11月20日(土)、夜須町マリナーホールにて行われた『まなびピア高知カラオケ大会』には予選大会通過者の58名が一堂に介し、熱戦を繰り広げました。

加えて、全国カラオケ事業者協会が主催する市場活性化キャンペーン「ザ・採点」に協賛。会員店舗へキャンペーンツールの提供を受け、9月1日から10月31日までの間、「店へお客様が来店する動機付け」「カラオケを歌ってもらう動機付け」に役立てました。

【著作権啓蒙活動】

音楽著作物使用料の適正な支払を呼びかけるチラシを作成し、会員へ配布しました。

また、新規入会希望店舗に対する「音楽著作物利用許諾契約」有無確認の後、未契約店に対しては締結推進と使用料の納付徹底を呼びかけました。

【広報活動】

会員の意思疎通を図ることを目的に機関紙を作成し、第23号を9月1日、第24号を12月1日に全会員へ配布しました。

また、生涯学習としてのカラオケ施設利用の促進を提唱した、生涯学習フォーラム等の機会を通じ、パンフレット配布やパネル展示を行いました。

【その他】

登録情報の変更やお問い合わせ、退会連絡などの際に利用していただくフリーダイヤルを設置。またカラオケ使用者連盟2011年版カレンダーをフリーダイヤルの告知と会員店舗の証として、作成し配布しました。

【収入の部】		備考
科目	決算額	
1. 会費収入	18,641,390	
1) 入会金	496,500	平成22年度入会数 993店舗
2) 正会員費	19,144,890	有効店舗6,386店舗
2. その他収入	4,108,368	事業収入、預金利息ほか
3. 当年度収入合計	23,747,758	
【支出の部】		備考
科目	決算額	
1. 事業費	10,455,048	
1) 会議費	442,477	総会・理事会
2) 旅費・交通費	431,910	宿泊・交通費
3) 広報費	462,000	機関紙発行
4) 事業推進費	1,232,004	生涯学習フェスティバル
5) 組織強化費	1,160,775	カレンダー、入会申込書&募集チラシ
6) 違法利用促進費	892,500	啓蒙チラシ
7) 市場活性化対策	1,500,000	歌ってフェスタ協賛
8) 賛助金費	4,333,320	賛助会費支払額
2. 一般管理費	11,182,176	
1) 職員給与手当	6,500,000	職員給与
2) 事務用品費	183,873	一般事務用品
3) 消耗品費	12,433	一般消耗品
4) 通信費	1,940,535	電話・郵送 ※
5) 印刷費	205,170	封筒
6) 渉外費	808,300	慶弔費・東日本大震災義援金
7) 運送費	507,208	送料
8) 雑支出金	1,024,657	借入金手数料、振込手数料
3. 当年度支出合計	21,637,224	
4. 当年度収支差額	2,110,532	
5. 前年度繰越額	2,458,819	
6. 当年度繰越額	4,569,351	

平成23年度 事業計画

1. 事業指針

- 組織の強化と拡充を目標に掲げ、カラオケ設置店の全国組織としての強固な組織基盤を構築する。
- 「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用の促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに事業を展開する一方、会員の利益向上に役立つ活動を研究し実践する。
- 「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」について継続検討を行い、団体としてその解消に努める。

2. 事業計画

- 東日本大震災で被害に遇われた方の義援活動を行うとともに、団体として出来る限りの支援策を協議し実行する。
- 関連団体と情報交換を行い、趣旨を同じくする事業に協賛する。
- 音楽著作権法の啓蒙普及活動を行うと共に、会内外のJASRAC著作物使用料の不払い店解消に努める。また、会員へ円滑な使用料納付を促し滞納防止を図る。
- 会員相互の意思疎通を図るため、年2回機関紙を発行する。
- 全国組織の利点を活かした組織運営の在り方を研究し、各エリア理事並びに都道府県会長および役員と、本部事務所の組織運営上の連携を更に密なものとする。
- 会員店舗の利用促進策、東日本大震災被害者支援策として「ザ・採点2011」に協賛する。
- 会員の連帯意識向上に役立つ企画を研究し実行する。
- 各エリア理事並びに都道府県会長が中心となり、会員拡大を行うと共に全国社交飲食業生活衛生同業組合連合会の組織拡大に協力する。

【収入の部】		備考
科目	金額	
会費収入	19,500,000	
入会金	500,000	600円×1,000名
正会員費	19,000,000	19年度定率(19,144,890円)
会費外収入	4,100,000	協賛事業収入及び協賛金(400万円)
当年度収入合計	23,800,000	
前期繰越額	4,569,351	
合計	28,369,351	
【支出の部】		備考
科目	金額	
事業費	16,300,000	
1) 会議費	1,000,000	総会、理事会他
2) 旅費・交通費	1,000,000	宿泊費、交通費
3) 広報費	600,000	機関紙発行
4) 事業推進費	2,000,000	まなびピア参加事業
5) 組織強化費	1,200,000	カレンダー
6) 違法利用促進費	1,500,000	啓蒙チラシ、団体協力
7) 市場活性化対策費	1,500,000	東日本大震災被災地支援協賛事業
8) 経外費	1,500,000	カラオケ検定準備費
9) 印刷費	4,500,000	全社連
10) 会長補助費	1,500,000	東日本大震災被災会員対応
一般管理費	11,400,000	
1) 職員給与手当	6,500,000	本部事務所員1名、アルバイト
2) 事務用品費	500,000	
3) 消耗品費	100,000	
4) 通信費	2,000,000	電話料金、機関紙発送費
5) 印刷費	300,000	封筒、入会申込書
6) 渉外費	300,000	慶弔費
7) 運送費	700,000	
8) 雑支出金	1,000,000	借入金手数料、振込手数料
前期繰越額	27,700,000	
予備費	469,351	
合計	28,169,351	

「カラオケ使用者連盟」本部役員改選

理事長：鈴木 武夫 (福島県)	理事：深田 昌造 (滋賀県)
常務理事：岩切 宏悦 (東京都)	山本 雅之 (兵庫県)
毛利 泰介 (福岡県)	常盤 欣吾 (広島県)
理事：清水 義美 (北海道)	大田 哲也 (香川県)
森山 邦和 (新潟県)	監事：奥村 健史 (大阪府)
野尻 孝 (栃木県)	川端 精二 (石川県)
市川 信司 (静岡県)	

生涯学習ネットワークフォーラム2011 カラオケ大会を岩手県で開催します

「全国生涯学習ネットワークフォーラム2011」へ当連盟が参加します。この催しは文部科学省と開催地である岩手県が共催して行うもので、昨年は全国生涯学習フォーラムという名称で開催していましたが今年より全国生涯学習ネットワークフォーラムと名前を変えて東京都と岩手県で開催します。当初、岩手県での単独開催の予定でしたが、震災の影響もあり、一時は中止と告知されていましたが、震災後に生涯学習を通じた地域の絆やコミュニティの高まりが再認識されや無事開催が決まりました。

当連盟としては催しに参加し、カラオケを通じた被災地の復興支援を掲げ「生涯学習ネットワークフォーラム2011カラオケ大会」を11月5日、午後1時より盛岡市にあります姫神ホール（盛岡市玉山区浜民字鶴塚55）にて実施いたします。

大会のテープ予選には岩手県で行われる決勝大会へ参加できる方なら誰でも応募可能です。ふるってご応募ください。

生涯学習ネットワークフォーラム2011カラオケ大会テープ予選

応募要項/テープに自分の声をフルコーラス録音し、「曲名」「住所」「氏名」「年齢」「職業」「電話番号」を明記の上、下記へ郵送ください。応募テープは返却しません。

締切/平成23年9月15日（木）（消印有効）

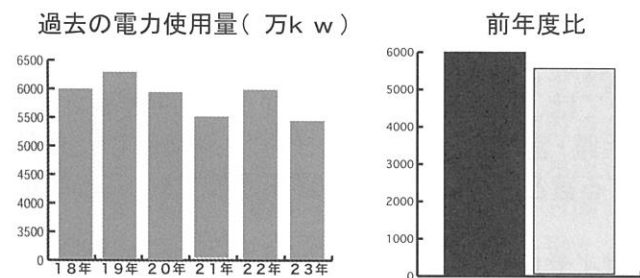
連絡/予選通過者へは9月下旬に直接通知いたします。（通過は予選通過者に限らせていただきます）

応募資格/応募・出場ともに無料ですが11月5日（土）に行われる決勝大会へ出場出来る方とします。送付先/〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11 目黒西口マンション2号館503カラオケ使用者連盟「生涯学習ネットワークフォーラム2011カラオケ大会」/テープ予選係

気になる今年の電力対策

東京・東北電力管轄地域は 電力使用量は▲15%に

平成23年5月17日に経済産業省にて行われた、「夏期の電力需給対策に関する説明会」によると、東日本大震災により、東京電力及び東北電力管内の供給力は大幅に減少し、これにより生じた受給ギャップの解消のため、計画停電が実施されましたが、懸念された大規模停電は回避され、計画停電は「不実施が原則」の状態へと移行しました。供給力と需要が一致するギリギリのラインではなく、一定の余裕を持つために東京・東北電力管内全域に置いて目標とする需要抑制率を▲15%とすると定められました。東京・東北電力管轄外地域に関しても政府、各電力会社より節電協力要請が行われております。

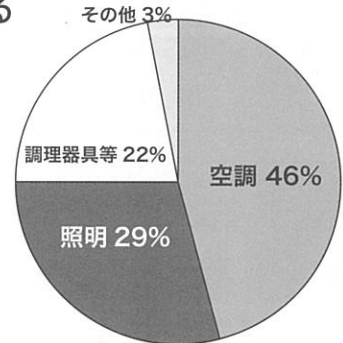


今年の東京電力の予想最大電力は5500万kw。昨年の最大電力は6000万kwのため。余裕を持つためにも前年よりも▲15%の節電が必要になります。

電力対策は出来てますか？

店舗で主に使われる電気の分布

・電気消費のうち、空調が約46%、照明が約29%、厨房機器等（給油・冷蔵庫・ショーケース等）約22%を占めます。
・これらを合わせると、電力消費の約97%を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。



店舗で出来る電力対策例

- 照明
 - ・従来型蛍光灯をLED照明に交換する。
 - ・店舗の照明を半分程度間引きする。
- 空調
 - ・設定温度を28℃にする。
 - ・フィルターを定期的に清掃する。
 - ・日射を遮るために、ブラインド、すだれ、ひさし等を活用する。
 - ・電気式以外の空調熱源を保有している場合はそちらを優先する。
- 冷蔵冷凍
 - ・調理機器、冷蔵庫の設定温度を見直す。
 - ・ショーケースの吸込口と吹き出し口にはものを置かない。
 - ・オープン式の場合はビニールカーテン等を使用する。
- コンセント動力
 - ・デモンストレーション用の家電製品などは電源をオフにする。
 - ・電気式給湯機等のプラグをコンセントから抜く。
 - ・自動販売機の管理者の協力の元、冷却停止時間の延長等を行う。

〇〇音楽著作物使用料の未払い・滞納は絶対にやめましょう〇〇

カラオケを利用する店舗が支払っている音楽著作物使用料は、JASRACによって楽曲の権利者（作詞・作曲家）へ分配され、新しい作品づくりの糧となっています。当連盟ではカラオケを利用する全ての店舗に、音楽著作物使用料の未払いや滞納防止を呼びかけています。会員各位におかれましても、自店はもとより、同業他店に対しても使用料の支払いや滞納解消を呼びかけましょう。

JASRACの東日本大震災で被災された事業者の皆さまの著作物使用料のお取扱いについて

JASRACは、この度の地震・津波により甚大な被害を受けた地域の事業者の皆さまの著作物使用料につきましては、4月から9月までの6ヵ月間、お支払いをいただかないことといたしました。10月以降のお取扱いにつきましては、今後の復興状況により対応させていただく予定です。余震や福島第一原発の損傷事故などにより、被災地では不安な生活が続いていることと思いますが、皆さまが一日も早く安全で健康な生活が送れますよう、重ねてお祈り申し上げます。

なお、本取扱いの対象となる地域と施設は次のとおりです。

(地域)

岩手県、宮城県、福島県の全域

青森県、茨城県、千葉県の災害救助法適用地域 ~一般社団法人日本音楽著作権協会ホームページより抜粋~

カラオケ義援金にご協力ありがとうございます

「歌で気持ちを伝えよう！今こそ日本の歌力」をキャッチフレーズに東日本大震災被災者生活再建の義援金募金運動を行いました。会員店舗には募金箱を店内に設置し、広く募金を呼びかけていただききました。カラオケを媒介とした義援金募金へのご協力ありがとうございます。

カラオケ義援金の募金期間は7月31日までです。お預かりいただいた義援金8月10日までに最寄りのりそな銀行から「社団福祉法人中央共同募金会カラオケ義援金」の口座までお振込みください。

詳しくは同封のチラシを参照ください。



岩手県・宮城県・福島県に店舗をもつ当連盟会員様の東日本大震災罹災に伴う会費免除のお知らせ

この度の震災により被害を受けられました皆様、そのご家族のかたがたに対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

さて、当連盟では本年2月27日付にて、「年会費口座振替に関するご案内」を送付させていただきましたが、3月11日に発生した東日本大震災の被害状況が振替時点で把握困難だったため、3月27日に予定した平成23年度の年会費口座振替を岩手県・宮城県・福島県について中止いたしました。

東日本大震災罹災会員に対する当連盟の対応については、その後5月18日に開かれた「理事会」並びに、「平成23年度通常総会」において審議され、「岩手県・宮城県・福島県に3月11日時点で会員登録のある会員店舗について、平成23年年会費を免除する旨とし、会費口座振替を行わない」ことが正式承認されました。

ご不明点などございましたら、何なりと下記のフリーダイヤルへ問い合わせ頂ければ幸いです。

一日も早い復興をお祈り申し上げます。

フリーダイヤルをご利用下さい。

経営者変更・お店の移転・閉店などのお知らせは通話料無料のフリーダイヤルをご利用下さい。なお、携帯電話・PHSからは03-3495-5695までご連絡をお願いします。

経営者変更・移転・閉店など、各種ご連絡は **0120-56-4056**

携帯電話・PHSからは 03-3495-5695